

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	丹波市通所支援事業所もみじ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月6日 ～ 令和6年12月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85 (回答者数)	46
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日 ～ 令和6年12月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・清潔で心地よく過ごせる環境を提供するとともに、こどもの特性を十分理解したうえで適切な支援を行っている。	・職員間で情報交換やアセスメントを行っている。 ・看護師を配置し、医療的ケア児の受入れ体制を整えている。 ・長期休業期間中の放課後等デイサービスは1日利用ができるようにしている。 ・長期休業中には制作活動と運動を必ず取り入れ、楽しんでチャレンジできる場面を計画している。 ・発達課題に応じた利用児配置を検討し、小集団遊びを毎回取り入れている。 ・話を聞く、意見を言う、ルールを守って最後まで参加するSSTとなるような声掛けをしている。 ・臨床心理士の指導助言を受け支援につなげている。 ・セラピストによる相談体制を整えている。	・様々な研修の受講や臨床心理士の指導助言により幅広い知識を身につけ、支援の質の向上に努めます。
2	・保護者に対し支援内容などの丁寧な説明や情報伝達を行い、信頼関係を構築している。	・6か月ごとの支援計画の見直し時期に保護者面談を行い、支援内容を確認しながら着実に目標達成できるようにしている。 ・お迎えの際や連絡帳を活用し、家庭や事業所内でのこどもの日々の様子を共通理解している。 ・定期的に通信を発行している。	・継続して丁寧な説明や情報共有する機会を持つとともに、保護者ニーズを伺いながら信頼関係の維持に努めます。
3	・事業所の支援等に対する保護者や利用児の満足度が高い。	・安心感を持って通所してもらえるように、連絡帳を丁寧に書いている。 ・こどもに楽しみのある活動の場を提供している。	・今後においても、情報提供を丁寧に言いながら楽しみのある活動の場の提供と支援の充実にも努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流への支援、家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	・父母の会や保護者会等を設置しておらず、保護者同士の交流機会もないことから低い評価となっている。 ・保護者の就労状況等により交流機会を設定することが困難である。 ・児童発達支援利用児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しており、保護者から一定の評価を得ている。 ・放課後等デイサービス利用児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングや研修会は実施できていない。	・引き続き保護者に寄り添った対応に努め、保護者同士の交流機会の必要性の検討や保護者ニーズを伺いながら対応します。 ・継続してペアレント・トレーニングを実施するとともに、内容や対象者の検証を行いながら、家族に対して研修会や情報提供の機会など適切な支援に努めます。
2	・認定こども園やアフタースクール、児童館等で他のこどもとの交流がない。	・認定こども園やアフタースクール、児童館等で他のこどもとの交流機会がないことから低い評価となっている。 ・外出する機会や地域と関わることはほとんどない。	・事業所以外の地域との交流機会の必要性の検討や保護者ニーズを伺いながら対応します。 ・認定こども園の園庭開放や地域の社会教育施設に行くなど、他の子どもや地域との交流機会が持てるように努めます。
3	・職員が支援等の共通理解をする時間の確保が難しい。	・職員数が多く、それぞれの業務があるため全員が一堂に会し支援方法等について共通理解をする時間の確保が難しい状況となっている。	・毎日のミーティング等を気になることを話し合い発言する場とし、そのほかの場面においても、いつでも、どこでも発言できる環境となるよう努めます。